

岩倉市 子どもを取り巻く現状

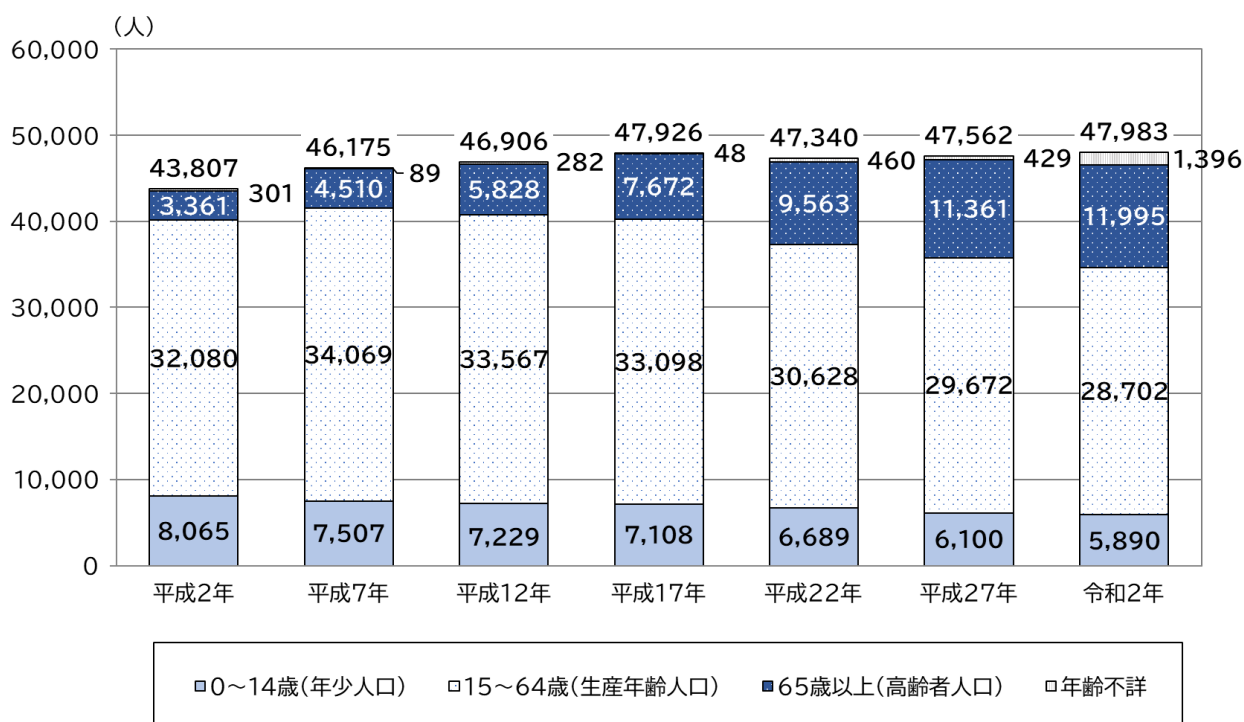
1. 人口・年齢別人口の状況

本市の人口は、平成2年から平成17年にかけて増加傾向にありましたが、平成22年から令和2年にかけては横ばいとなっています。

年齢3区分別にみると、0～14歳の年少人口が、平成2年以降減少し続けています。15歳～64歳の生産年齢人口も、平成7年以降減少傾向が続いています。一方で、65歳以上の高齢者人口は平成2年以降増加し続けています。

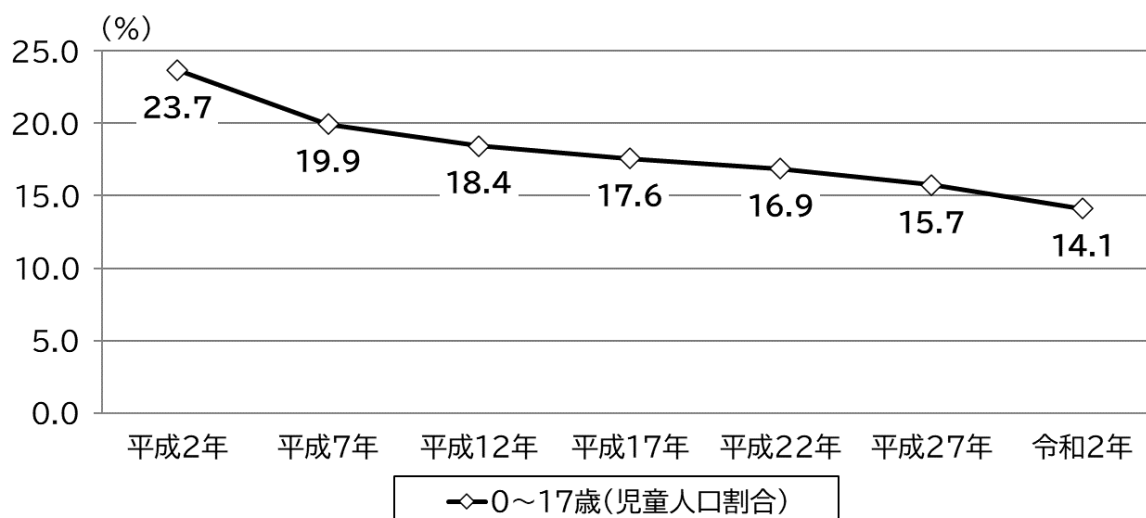
0～17歳の児童人口の割合をみても、平成2年以降減少傾向にあり、令和2年では15%を下回っています。

図表 年齢3区分人口の推移



資料：国勢調査
※総人口には年齢不詳を含む

図表 児童人口割合の推移



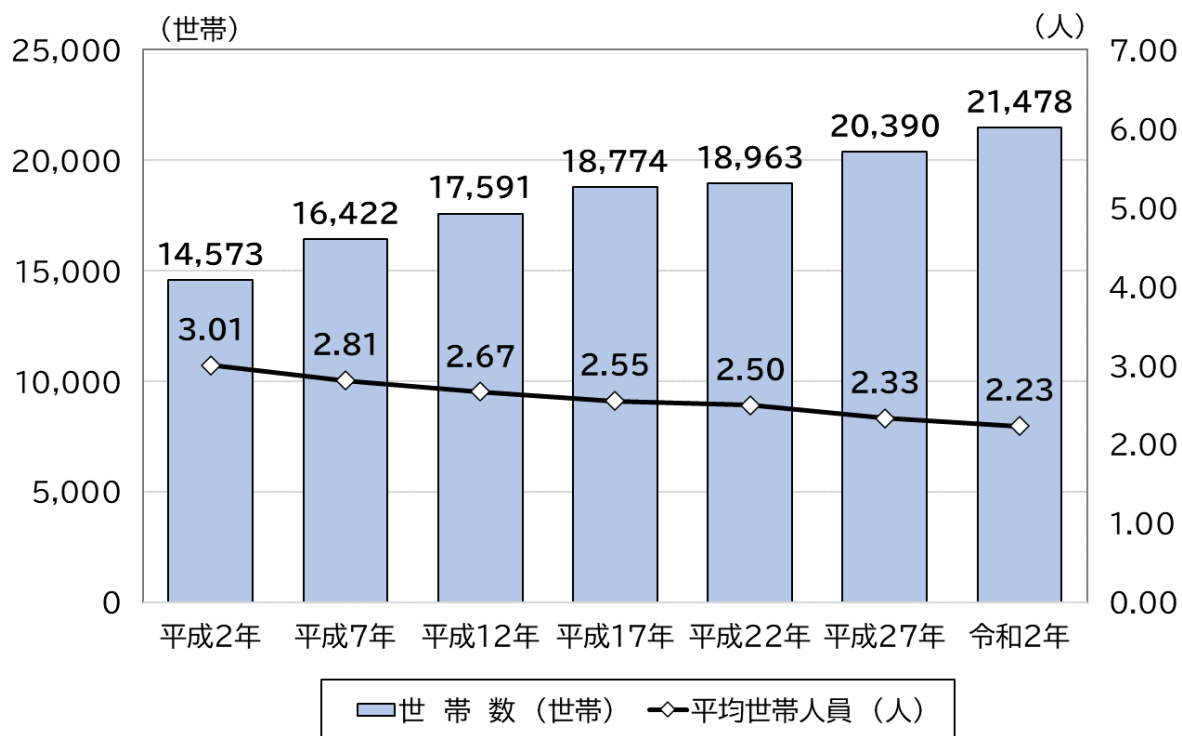
資料：国勢調査

2. 世帯の状況

本市の世帯数は、平成2年以降増加し続けており、令和2年には21,000世帯を超えています。

世帯数の増加に対して、1世帯あたりの平均人員は平成2年以降減少し続けており、令和2年には2.23人と平成2年以降で最も少なくなっています。

図表 世帯数・平均世帯人員の推移

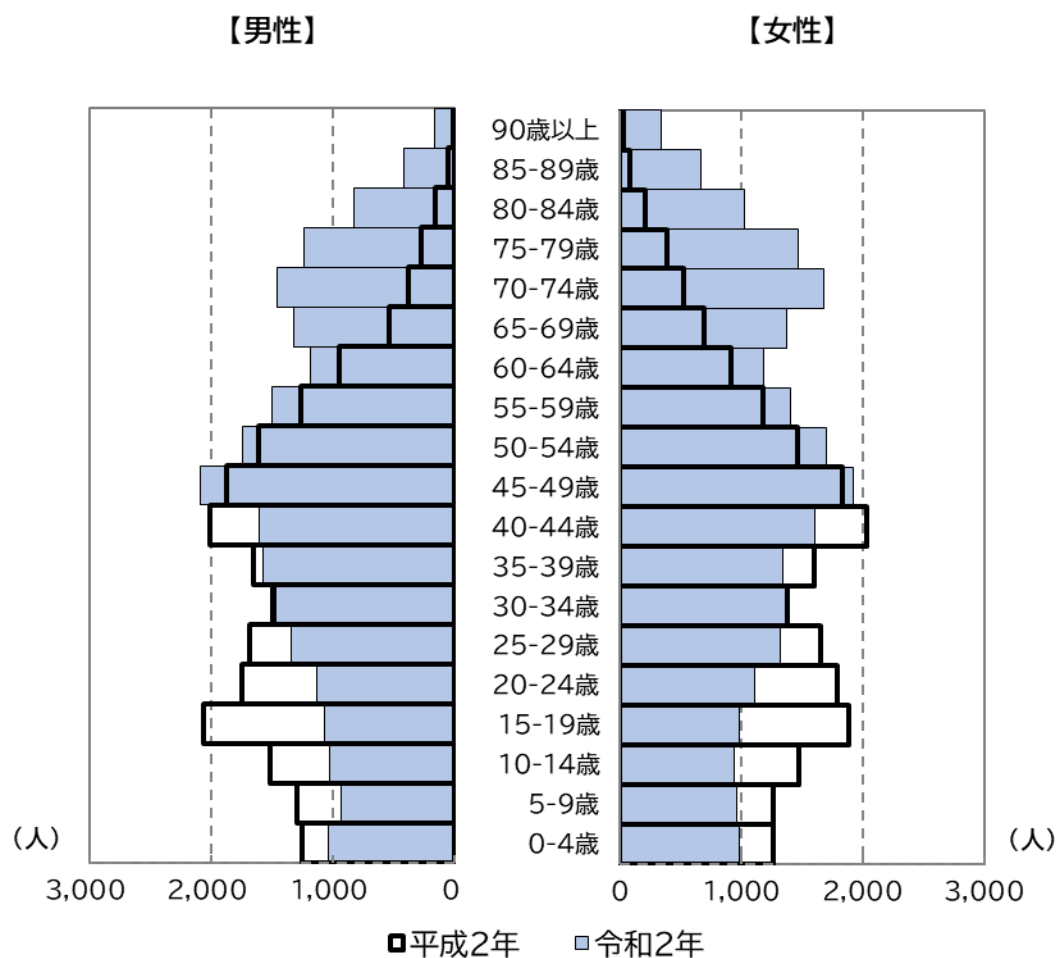


資料：国勢調査

3. 5歳階級別人口

本市の人口構成について、令和2年は男女ともに45～49歳が最も多くなっています。平成2年と令和2年を比較すると、男女ともに44歳以下の人口が減少しており、特に15～19歳では男女ともに900人程度減少しています。

図表 男女別5歳階級別人口(平成2年・令和2年の比較)



資料：国勢調査

※外国籍の人口含む

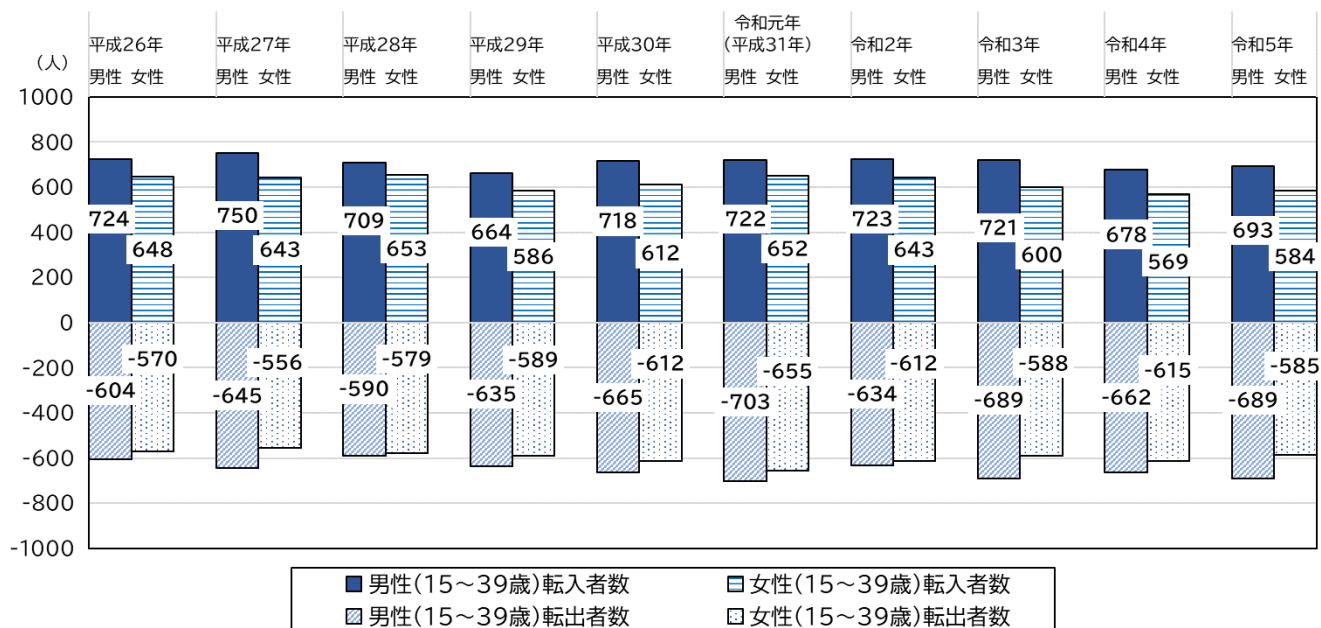
※年齢不詳を除いた総数

4. 転入・転出者数

岩倉市の15～39歳の転入者数と転出者数を男女別でみると、女性は平成26年から平成28年にかけては転入超過が続いていましたが、平成29年以降は、転出超過の年が多くなっています。一方、男性は平成26年以降、転入超過が続いています。

令和5年の転入・転出者数をみると、男女ともに25～29歳での転入・転出が最も多くなっています。10歳代、20歳代、30歳代をそれぞれ合計すると、男女ともに20歳代までは転入超過、30歳代は転出超過となっています。

図表 岩倉市の男女別の転入・転出者数(15～39歳)

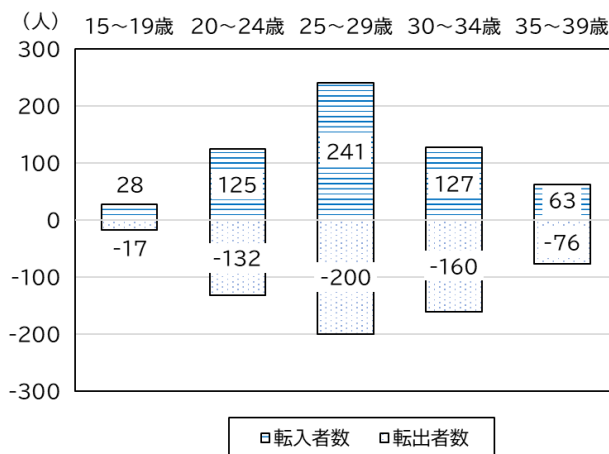
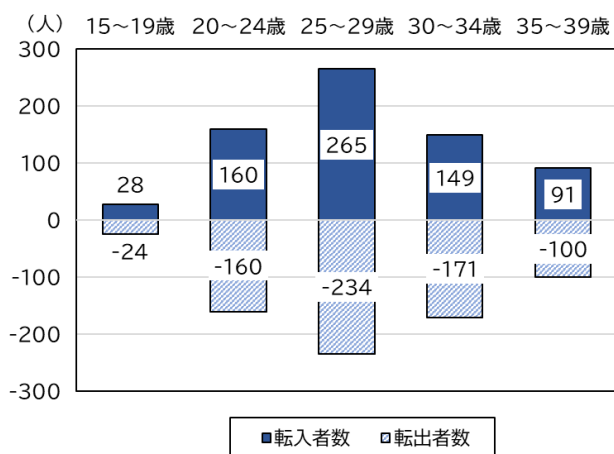


資料：住民基本台帳人口移動報告

図表 岩倉市の男女別の転入・転出者数(15～39歳・令和5年)

【男性】

【女性】



資料：住民基本台帳人口移動報告

5. 児童人口の推移

本市の児童人口（18歳未満）は、平成29年に7,607人となって以降緩やかに減少し、令和6年には7,000人を下回りました。

平成27年と令和6年を比較すると、特に減少幅が大きかった15歳では108人減少しています。

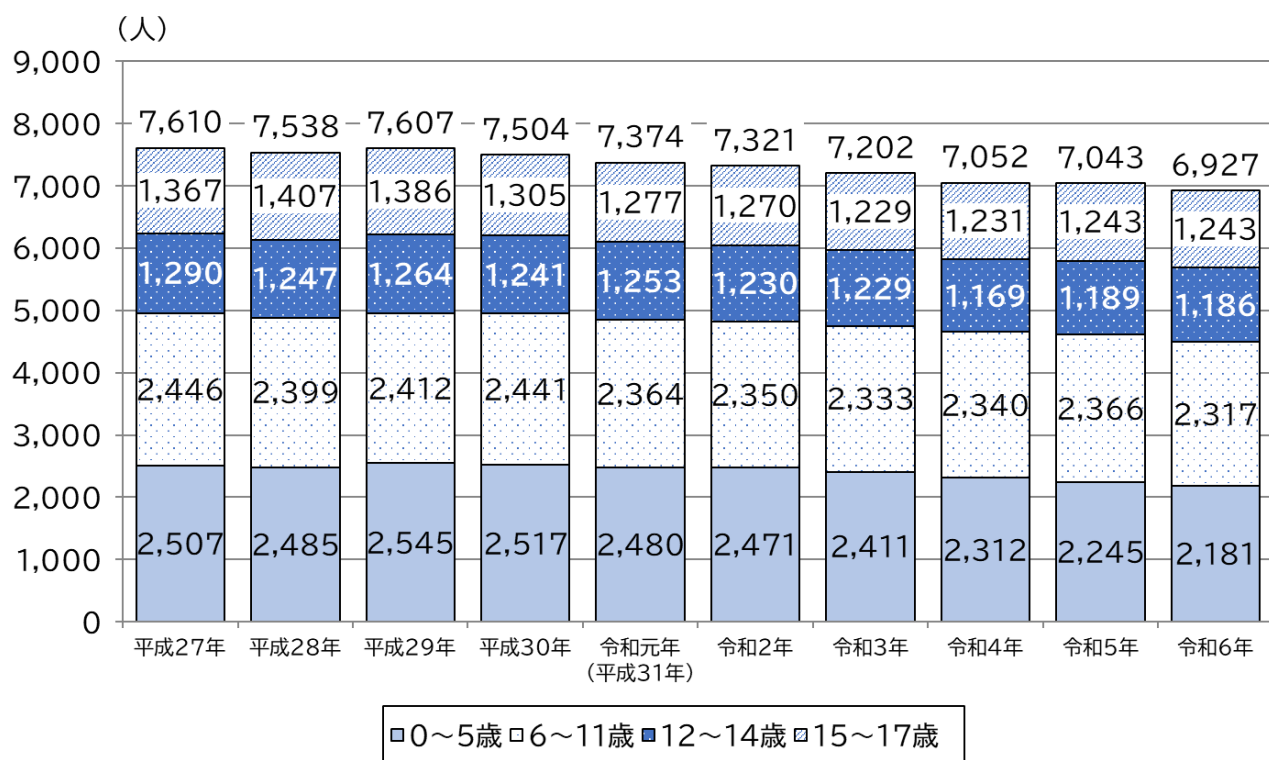
図表 年齢別児童人口の推移

（単位：人）

年齢	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	平成27年と 令和6年の比較
0歳	464	435	498	438	426	417	433	378	394	375	△89
1歳	431	462	435	483	405	413	389	383	375	386	△45
2歳	397	394	435	418	451	400	389	387	349	361	△36
3歳	412	387	393	423	398	434	384	368	375	345	△67
4歳	425	400	377	385	417	386	428	380	375	356	△69
5歳	378	407	407	370	383	421	388	416	377	358	△20
小計	2,507	2,485	2,545	2,517	2,480	2,471	2,411	2,312	2,245	2,181	△326
6歳	406	374	405	408	368	381	415	376	418	378	△28
7歳	393	403	382	416	408	373	379	406	379	412	19
8歳	431	390	406	383	407	397	370	381	403	378	△53
9歳	394	432	390	406	382	409	393	373	386	393	△1
10歳	405	388	437	391	403	376	406	396	378	384	△21
11歳	417	412	392	437	396	414	370	408	402	372	△45
小計	2,446	2,399	2,412	2,441	2,364	2,350	2,333	2,340	2,366	2,317	△129
12歳	435	411	416	397	437	393	405	371	410	400	△35
13歳	403	431	413	420	399	431	396	404	372	410	7
14歳	452	405	435	424	417	406	428	394	407	376	△76
小計	1,290	1,247	1,264	1,241	1,253	1,230	1,229	1,169	1,189	1,186	△104
15歳	509	452	409	435	424	413	404	425	404	401	△108
16歳	440	512	457	408	440	419	404	400	432	408	△32
17歳	418	443	520	462	413	438	421	406	407	434	16
小計	1,367	1,407	1,386	1,305	1,277	1,270	1,229	1,231	1,243	1,243	△124
合計	7,610	7,538	7,607	7,504	7,374	7,321	7,202	7,052	7,043	6,927	△683

資料：住民基本台帳（外国人登録人口を含む）
各年4月1日現在

図表 年齢別児童人口の推移



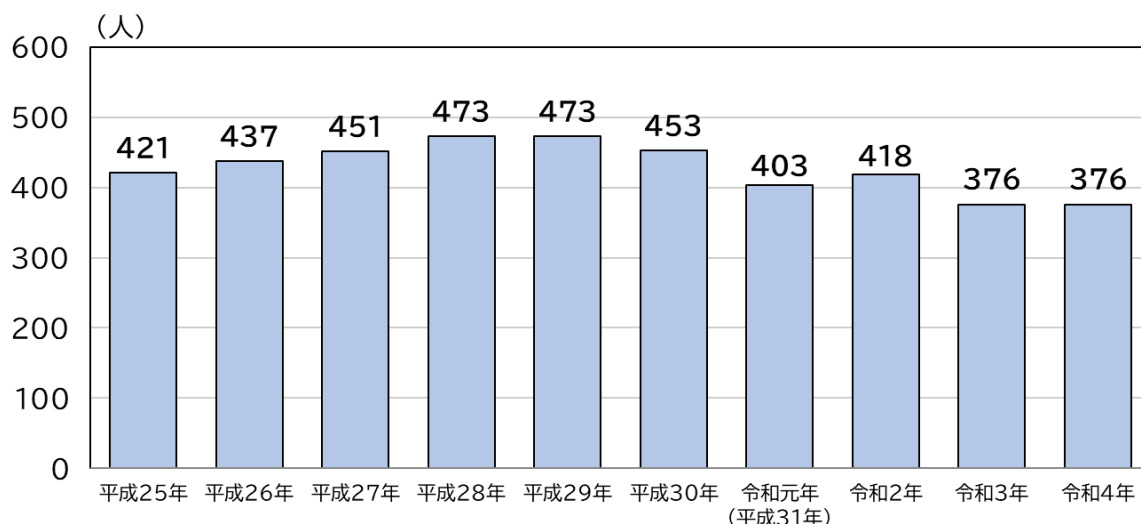
資料：住民基本台帳（外国人登録人口を含む）
各年4月1日現在

6. 出生状況

本市の出生数は、平成 28 年と平成 29 年の 473 人をピークに減少傾向にあります。令和 3 年には 400 人を下回り、平成 25 年から過去 10 年で最低となっています。

人口 1,000 人に対する出生率については、平成 25 年から平成 28 年にかけては上昇傾向にありましたが、平成 29 年以降は概ね下降傾向となり、令和元年（平成 31 年）に 9.0 を下回り、令和 3 年と令和 4 年は同数で 8.0 を下回りました。ただし、平成 26 年以降は全国、愛知県よりも高い値で推移しています。

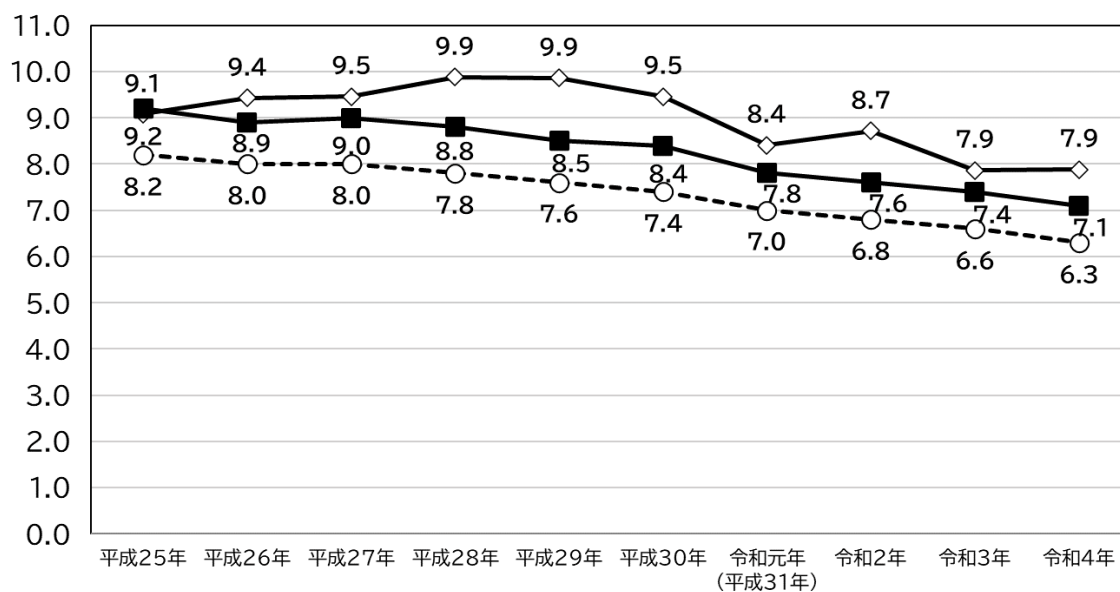
図表 出生数の推移



資料：愛知県衛生年報

※出生数は年間に届けられた数

図表 出生率の推移の比較(岩倉市・愛知県・全国)



◇出生率(岩倉市) ■出生率(愛知県) ○出生率(全国)

資料：愛知県衛生年報

※出生率＝出生数/人口×1,000（人口1,000人当たり出生数）

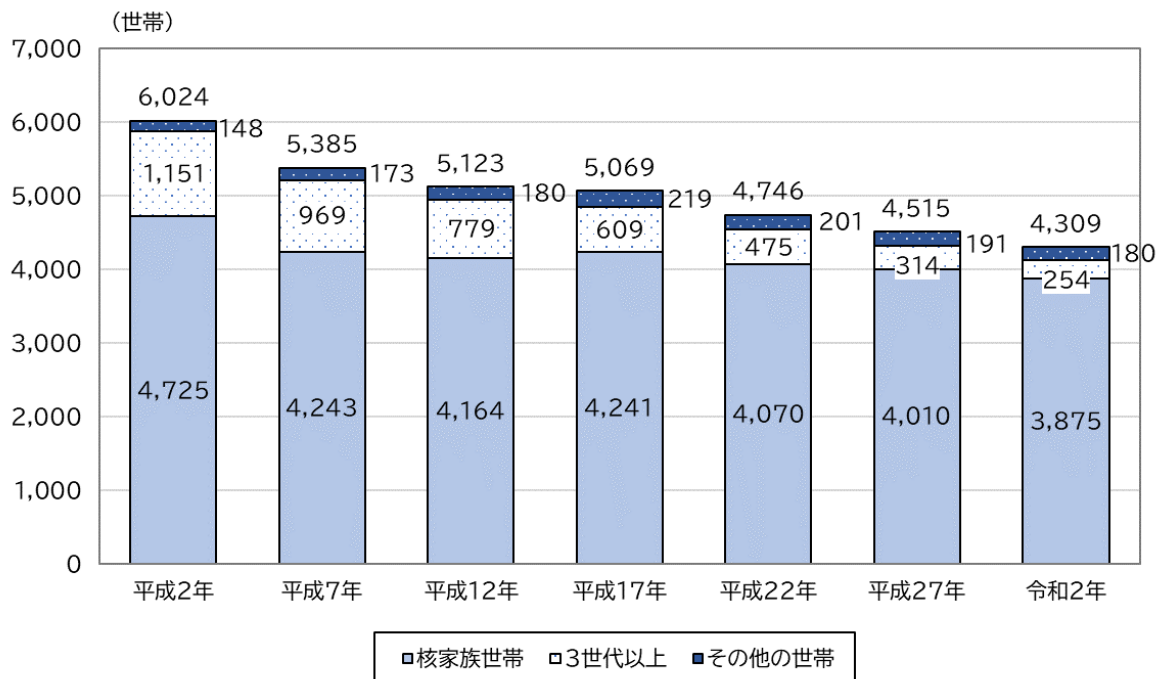
※出生率算出基礎人口は各年10月1日現在の人口

7. 子どもがいる世帯の状況

本市の18歳未満の世帯員がいる世帯の状況は、平成2年以降減少し続けています。

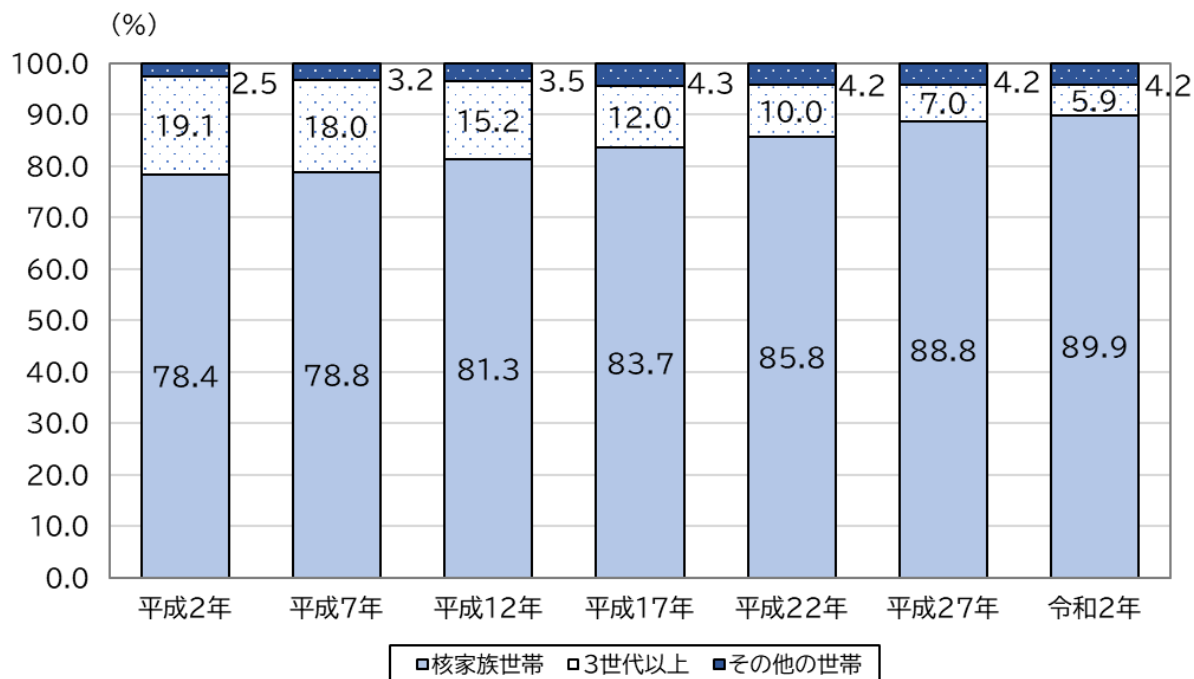
平成2年には6,024世帯ありましたが、平成22年には5,000世帯を下回り、令和2年には4,309世帯と、過去30年間でおよそ1,700世帯減少しています。その中でも特に、「3世代以上」については、平成2年以降、総世帯に占める割合が減少し続けています。

図表 子どもがいる世帯の状況



資料：国勢調査

図表 子どもがいる世帯の構成割合

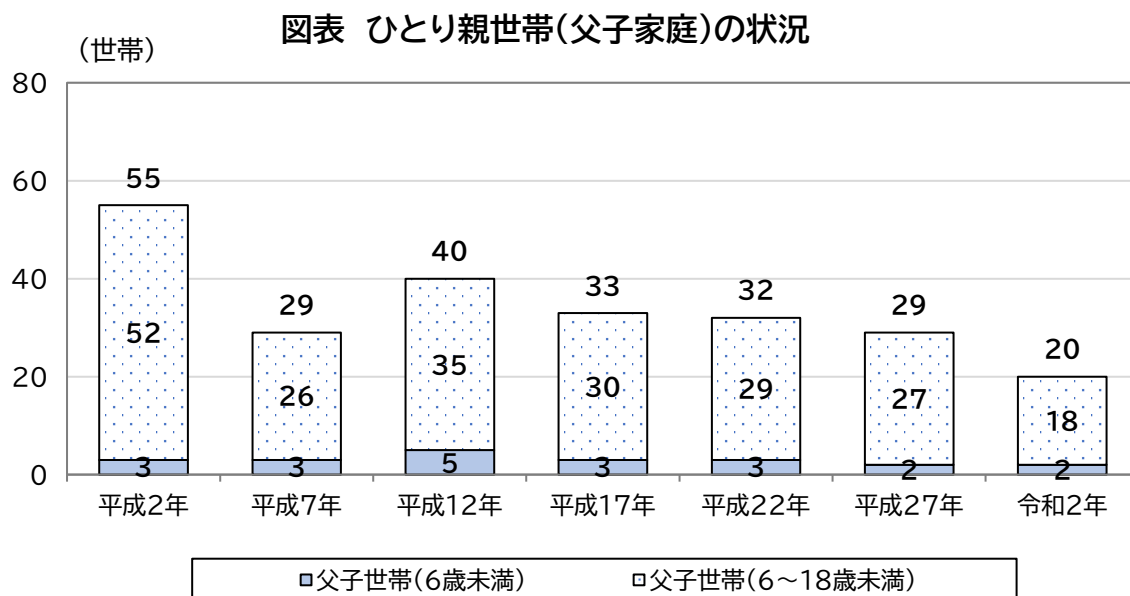


資料：国勢調査

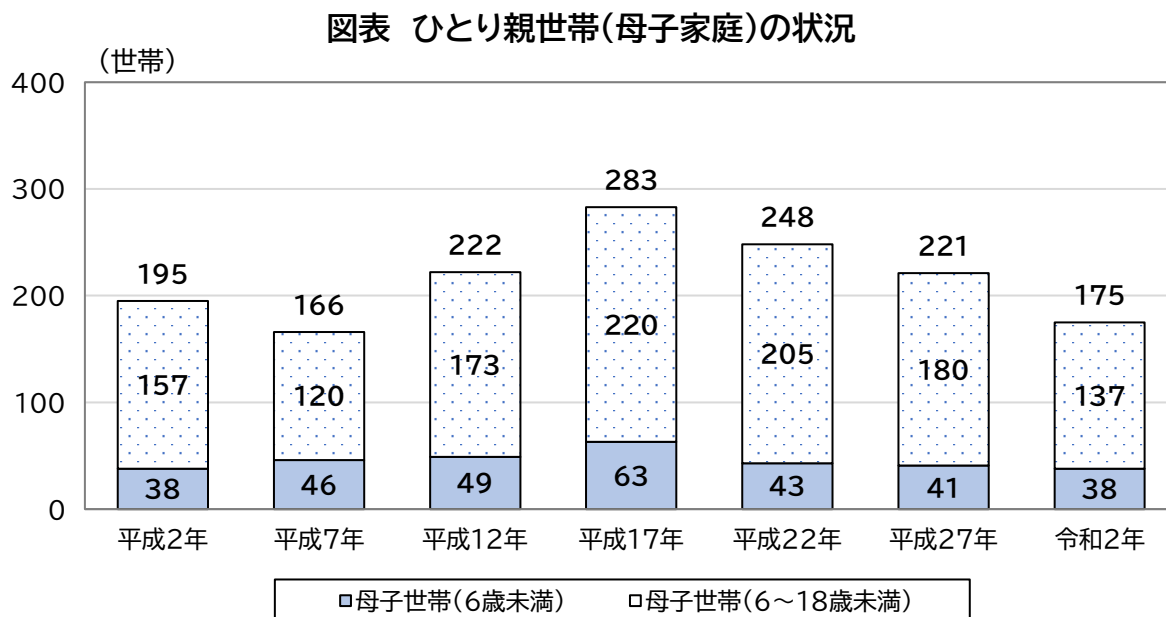
8. ひとり親世帯の状況

本市の18歳未満の世帯員がいるひとり親世帯の状況について、父子家庭は減少傾向にあり、令和2年では20世帯となっています。

一方、母子家庭は令和2年には175世帯で、父子家庭よりもかなり多い状況です。平成2年から令和2年にかけて変動がありますが、平成17年には283世帯と最も多くなり、その後は減少傾向にあります。



資料：国勢調査



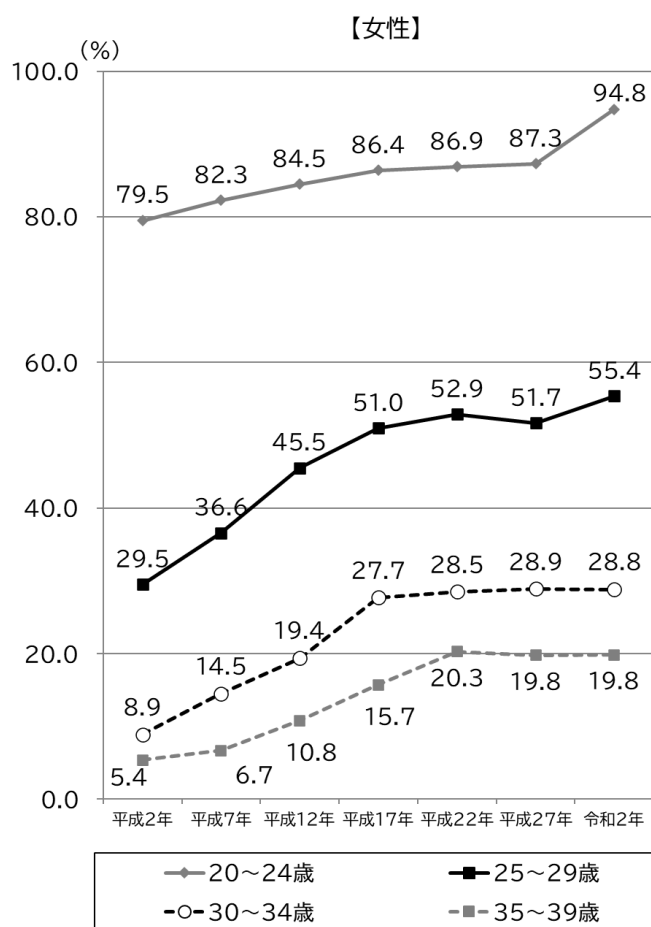
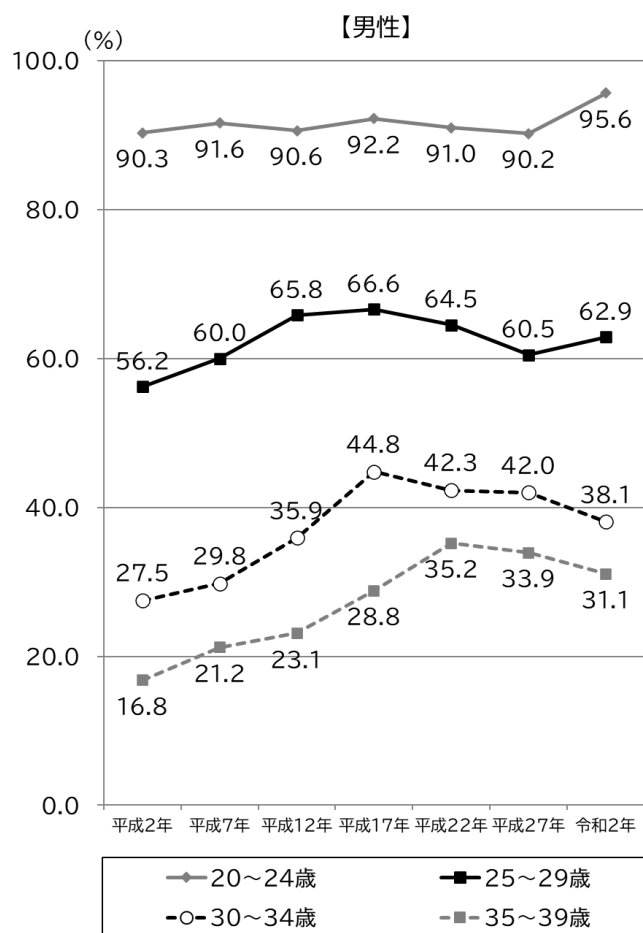
資料：国勢調査

9. 未婚率の状況

本市の20～39歳の未婚率の推移を男女別・年齢別にみると、男性は、25～29歳および30～34歳では平成17年をピークに、35～39歳では平成22年をピークに減少傾向にあります。女性はどの年代も増加傾向にあります。特に25～29歳では、平成2年から令和2年にかけて25.9ポイント増加しています。

特に、女性の未婚率がどの年代も増加していることから、女性の晩婚化が進んでいると言えます。

図表 男女別未婚率推移(20～39歳)



資料：国勢調査

10. 婚姻・離婚の状況

本市の婚姻の件数は、平成 25 年から平成 28 年にかけては 300 件程度で推移していましたが、平成 29 年以降は徐々に減少傾向にあり、令和 4 年では 251 件となっています。

一方、離婚の件数も増減を繰り返しながら徐々に減少しており、令和 4 年では 74 件となっています。

人口 1,000 人に対する婚姻率と離婚率は、どちらも減少傾向にあります。

図表 婚姻件数・離婚件数・婚姻率・離婚率の推移

区分		平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年 (平成 31 年)	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
婚姻件数	(件)	299	335	316	331	296	291	277	282	277	251
婚姻率 (%)	岩倉市	6.4	7.2	6.6	6.9	6.2	6.1	5.8	5.9	5.8	5.3
	愛知県	5.8	5.7	5.6	5.6	5.5	5.3	5.5	4.9	4.6	4.6
	全国	5.3	5.1	5.1	5.0	4.9	4.7	4.8	4.3	4.1	4.1
離婚件数	(件)	92	96	87	78	78	90	83	58	81	74
離婚率 (%)	岩倉市	2.0	2.1	1.8	1.6	1.6	1.9	1.7	1.2	1.7	1.6
	愛知県	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.5	1.5
	全国	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.5	1.5

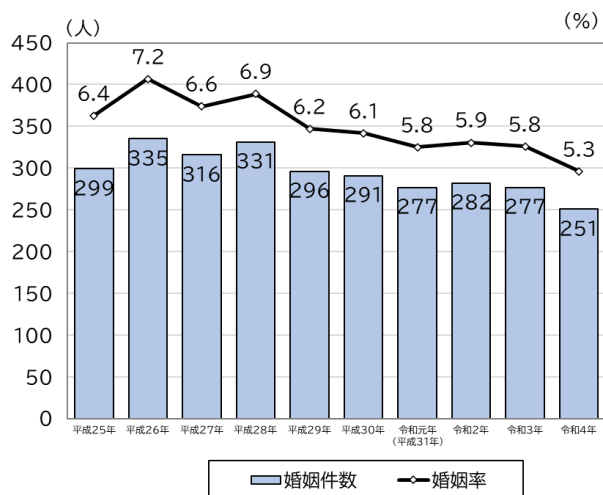
資料：愛知県衛生年報

※婚姻・離婚率＝婚姻・離婚件数／人口×1,000（人口 1,000 人当たり婚姻・離婚件数）

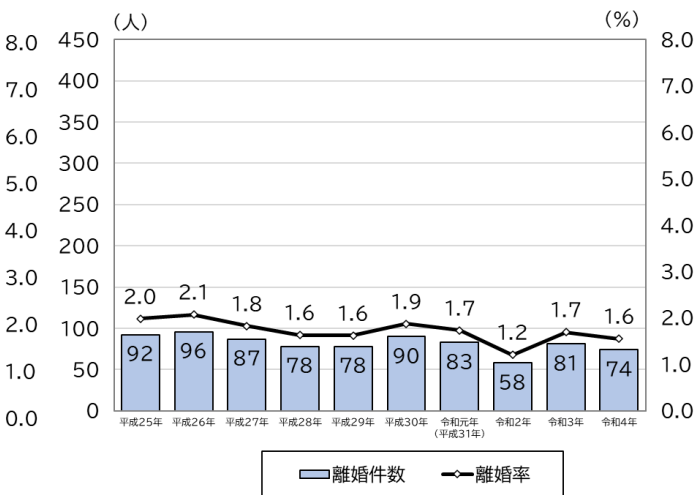
※婚姻・離婚件数は年間に届けられた数

※婚姻・離婚率算出基礎人口は各年 10 月 1 日現在の人口

図表 婚姻件数・婚姻率の推移



図表 離婚件数・離婚率の推移



資料：愛知県衛生年報

※婚姻・離婚率＝婚姻・離婚件数／人口×1,000（人口 1,000 人当たり婚姻・離婚件数）

※婚姻・離婚件数は年間に届けられた数

※婚姻・離婚率算出基礎人口は各年 10 月 1 日現在の人口

11. 女性の就業状況

女性の就業状況をみると、結婚・出産期にあたる年代に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇するという、いわゆる「M字カーブ」がみられ、30～34歳、35～39歳で、その前後の年代に比べて就業率が低くなっています。

また、25歳～29歳と30～34歳の就業率をみると、平成12年から令和2年にかけて増加傾向にあり、若い世代の女性の就業率が年々高まっていることがわかります。

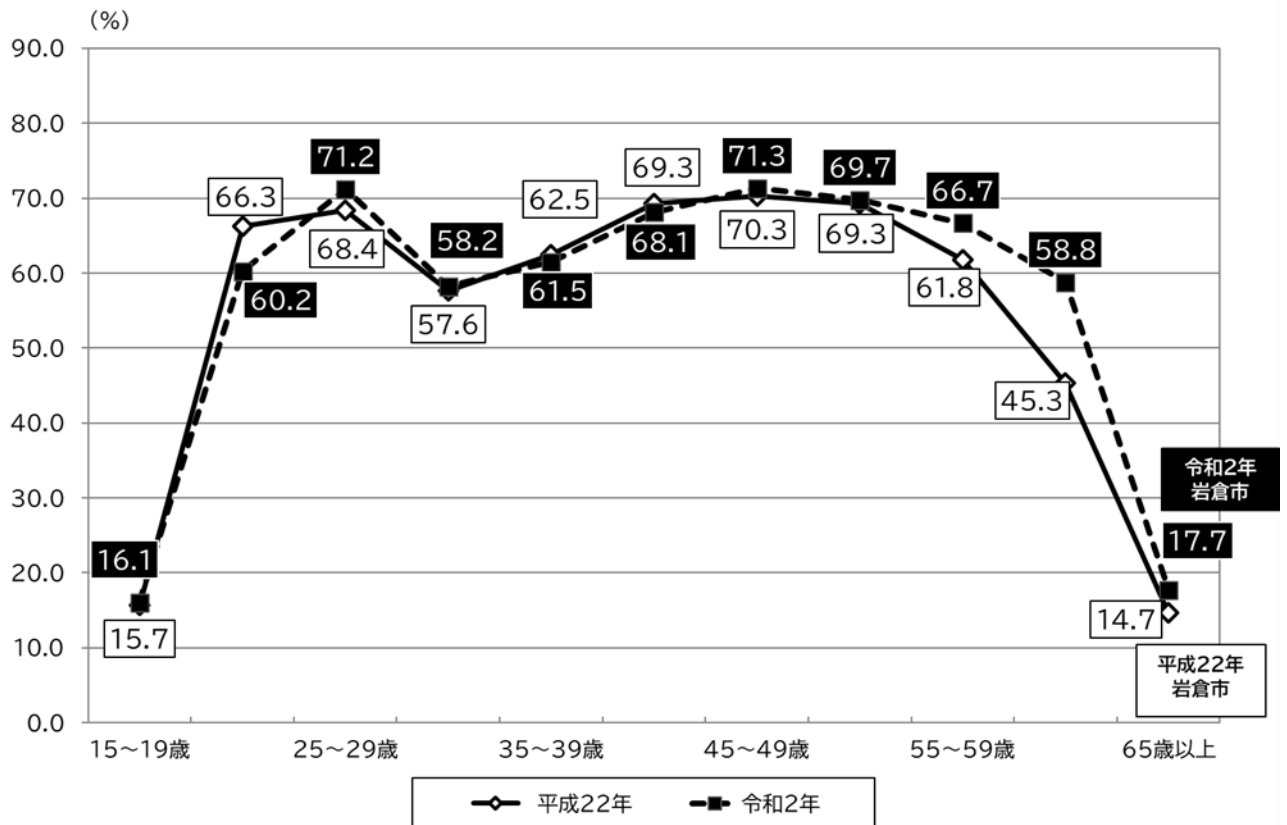
愛知県や全国と比較すると、30～34歳では5ポイントほど、35～39歳では3ポイントほど愛知県、全国に比べて低い状況です。

図表 女性の年齢別就業人口の推移

区 分		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和2年 (愛知県)	令和2年 (全国)
女性(15歳以上) 人口	(人)	19,752	20,426	20,577	20,668	20,551	3,213,141	56,160,102
女性就業人口 総数	(人)	10,072	10,368	9,900	9,707	9,848	1,581,708	26,141,918
女性の就業率	(%)	51.0	50.8	48.1	47.0	47.9	49.2	46.5
女 性 の 年 齢 別 就 業 人 口	15～19歳	(人)	204	222	174	159	27,608	387,895
		(%)	17.2	20.2	15.7	14.2	16.1	14.2
	20～24歳	(人)	1,043	817	748	675	668	1,739,983
		(%)	71.1	65.4	66.3	61.0	60.2	59.7
	25～29歳	(人)	1,376	1,123	972	906	940	2,037,971
		(%)	62.4	65.7	68.4	67.9	71.2	68.9
	30～34歳	(人)	1014	1,206	1,011	857	804	2,054,853
		(%)	49.8	55.8	57.6	58.7	58.2	64.5
	35～39歳	(人)	925	1201	1,270	1,005	830	2,345,266
		(%)	60.0	62.1	62.5	61.3	61.5	64.9
	40～44歳	(人)	876	1071	1,229	1,310	1,093	2,810,461
		(%)	67.5	70.2	69.3	67.8	68.1	68.5
	45～49歳	(人)	1,169	968	1,033	1,252	1,369	3,377,650
		(%)	73.4	72.5	70.3	71.3	71.3	70.6
	50～54歳	(人)	1,370	1,146	897	1,007	1,185	2,992,070
		(%)	69.0	71.7	69.3	69.4	69.7	70.2
	55～59歳	(人)	1,045	1,230	954	803	939	2,654,190
		(%)	58.2	63.0	61.8	64.2	66.7	68.0
	60～64歳	(人)	577	757	855	721	698	2,121,658
		(%)	40.9	43.3	45.3	48.7	58.8	57.3
	65歳以上	(人)	473	627	757	1,014	1,163	3,619,921
		(%)	14.6	15.3	14.7	16.5	17.7	18.1

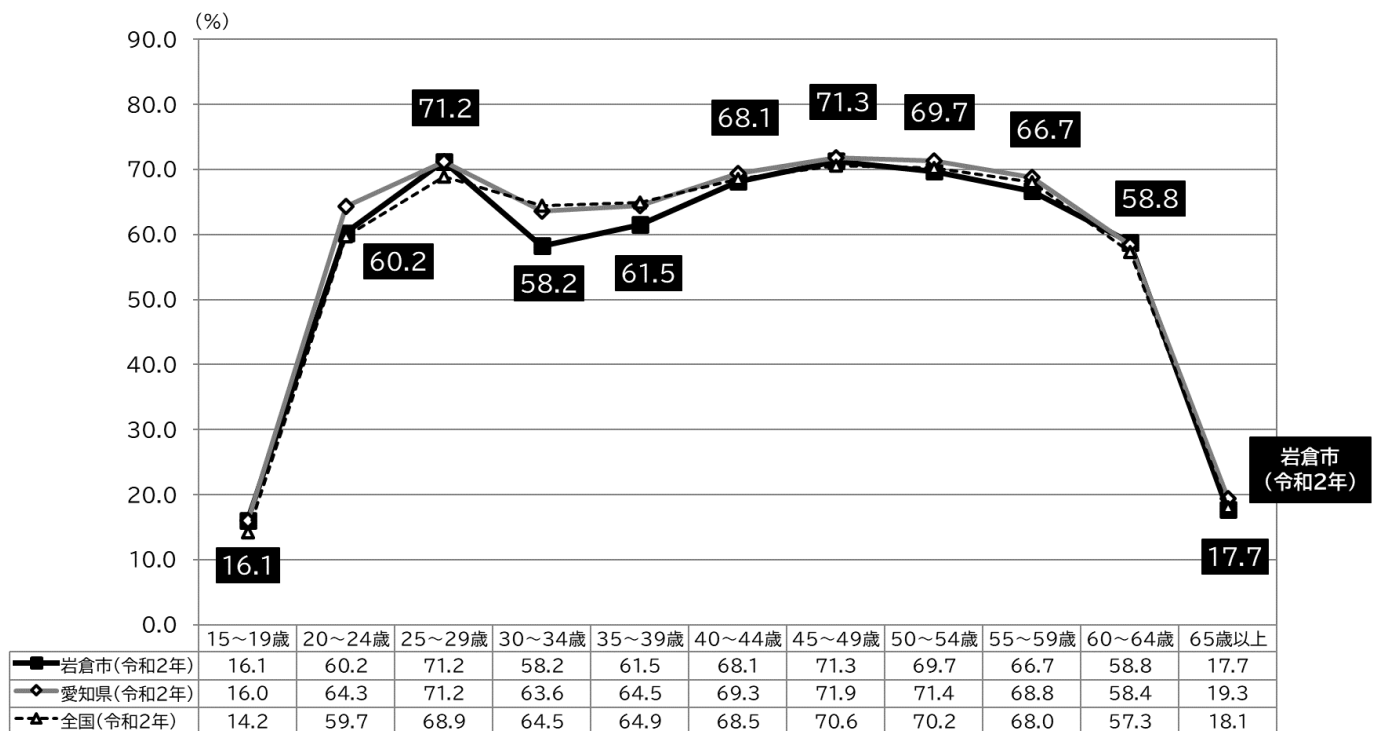
資料：国勢調査

図表 女性の年齢別就業率の推移(平成22年と令和2年の比較)



資料：国勢調査

図表 女性の年齢別就業比率(岩倉市・愛知県・全国)



資料：国勢調査

12. 男性の就業状況

男性の 15 歳以上の人口は横ばいで推移していますが、就業人口および就業率は減少傾向となっています。

年齢別の就業率を見ても、ほとんどの年齢層で就業率が下がっています。平成 22 年から令和 2 年までの 10 年間で見ると、15～19 歳、60～64 歳、65 歳以上以外の年代は全て低下しており、特に、25～54 歳の年代は軒並み 10 ポイント程度低下しています。また、直近の 5 年間である平成 27 年と令和 2 年で比較しても、特に 35～39 歳と 55～59 歳が 6.3 ポイントと大きく低下しています。

図表 男性の年齢別就業人口の推移

区 分		平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年	令和 2 年 (愛知県)	令和 2 年 (全国)
男性 (15 歳以上) 人口	(人)	19,643	20,344	20,045	20,365	20,146	3,154,175	52,098,467
男性就業人口 総数	(人)	15,184	14,816	13,891	13,103	12,377	2,023,730	31,501,307
男性の就業率	(%)	77.3	72.8	69.3	64.3	61.4	64.2	60.5
男性の 年齢別 就業人口	15～19 歳	(人)	205	208	145	141	161	30,807
		(%)	17.7	18.8	13.8	12.4	15.0	16.9
	20～24 歳	(人)	1,058	792	682	639	654	130,394
		(%)	74.8	68.5	63.9	60.5	57.8	64.6
	25～29 歳	(人)	2,051	1,419	1,229	1,082	1,016	165,605
		(%)	91.2	84.2	85.2	78.4	75.8	78.5
	30～34 歳	(人)	2,049	2,142	1,532	1,308	1,187	177,995
		(%)	93.3	89.2	89.0	83.7	78.3	80.9
	35～39 歳	(人)	1,653	1,784	1,979	1,427	1,236	194,917
		(%)	94.8	89.9	89.0	85.0	78.7	82.0
	40～44 歳	(人)	1,249	1,554	1,712	1,857	1,284	217,928
		(%)	94.8	92.0	89.6	84.9	80.0	83.0
	45～49 歳	(人)	1,506	1,298	1,418	1,549	1,674	259,240
		(%)	93.9	93.3	90.5	83.2	80.2	83.3
	50～54 歳	(人)	1,834	1,498	1,202	1,306	1,370	224,666
		(%)	93.7	91.1	90.4	84.9	78.9	83.5
	55～59 歳	(人)	1,696	1,744	1,364	1,104	1,201	196,086
		(%)	90.4	89.2	88.5	86.5	80.2	84.6
	60～64 歳	(人)	1,001	1,220	1,289	1,087	911	153,082
		(%)	65.4	68.9	72.0	73.9	77.1	78.3
	65 歳以上	(人)	882	1,157	1,339	1,603	1,683	273,010
		(%)	33.9	32.5	30.5	30.8	31.1	32.9

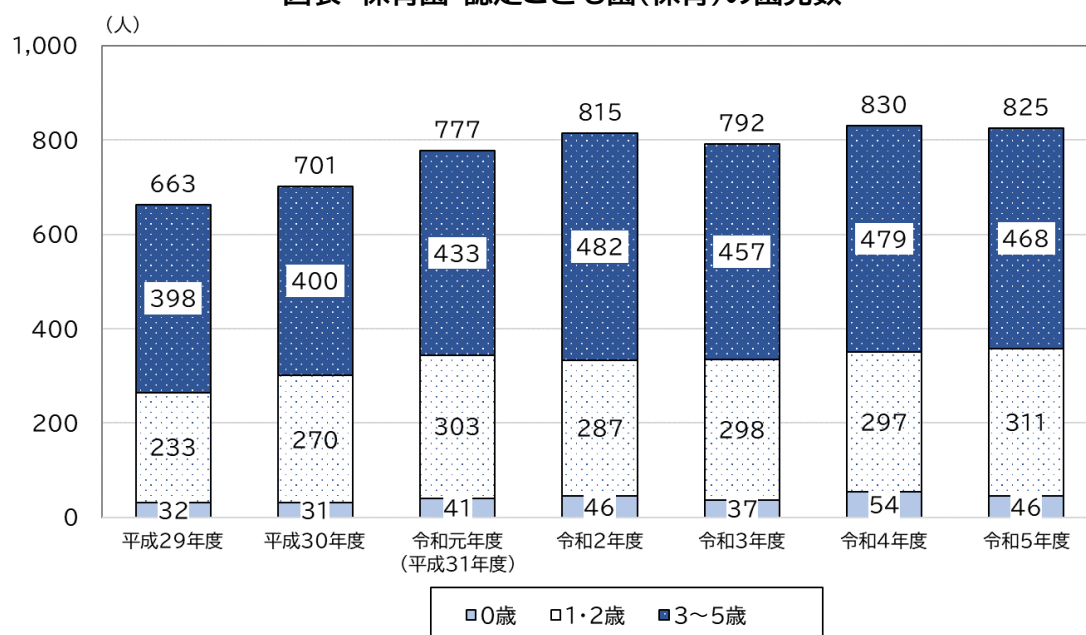
資料：国勢調査

13. 保育園・認定こども園(保育)の利用状況

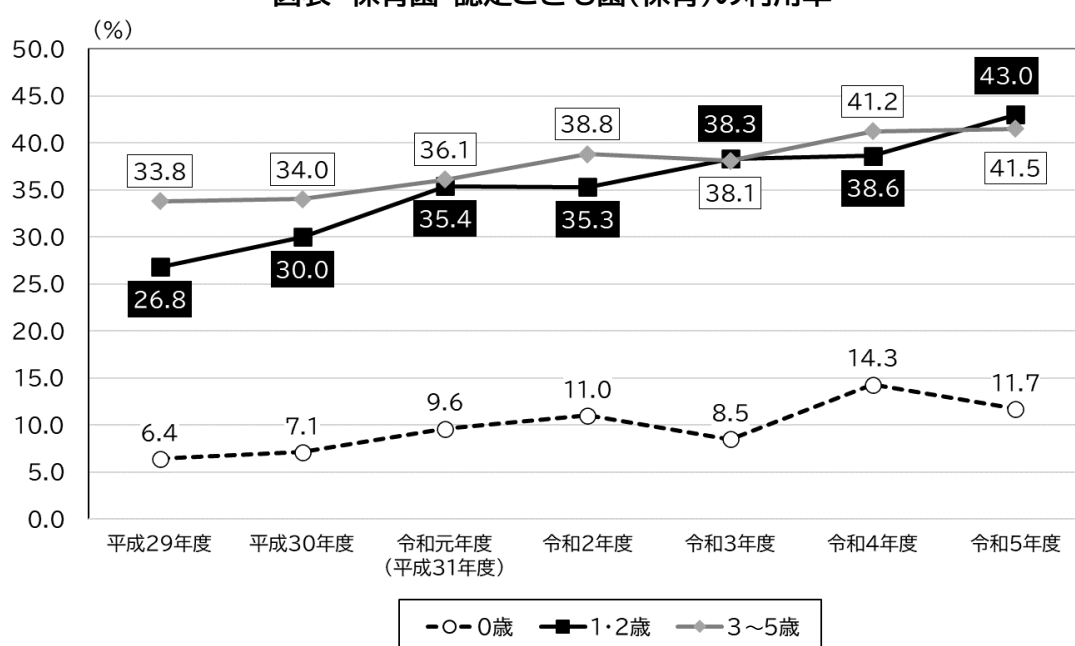
本市の保育園・認定こども園（保育）に通っている園児数をみると、平成 29 年度から令和 5 年度にかけて増加傾向にあります。特に、1・2歳と3～5歳の園児数が大きく増加しており、平成 29 年度と令和 5 年度を比較すると、1・2歳は 78 人の増、3～5歳は 70 人の増となっています。一方、増加率でみると、0歳は 43.8%の増、1・2歳は 33.5%の増、3～5歳は 17.6%の増となり、低年齢になるほど高くなっています。

利用率をみると、平成 29 年度から令和 5 年度にかけてどの年齢区分も増加傾向にあり、1・2歳では特にその幅は大きく、およそ 16 ポイント増加し、3～5歳の利用率と同程度になっています。

図表 保育園・認定こども園(保育)の園児数



図表 保育園・認定こども園(保育)の利用率



※保育園・認定こども園（保育）の利用率算出基礎人口は各年 10 月 1 日現在の人口